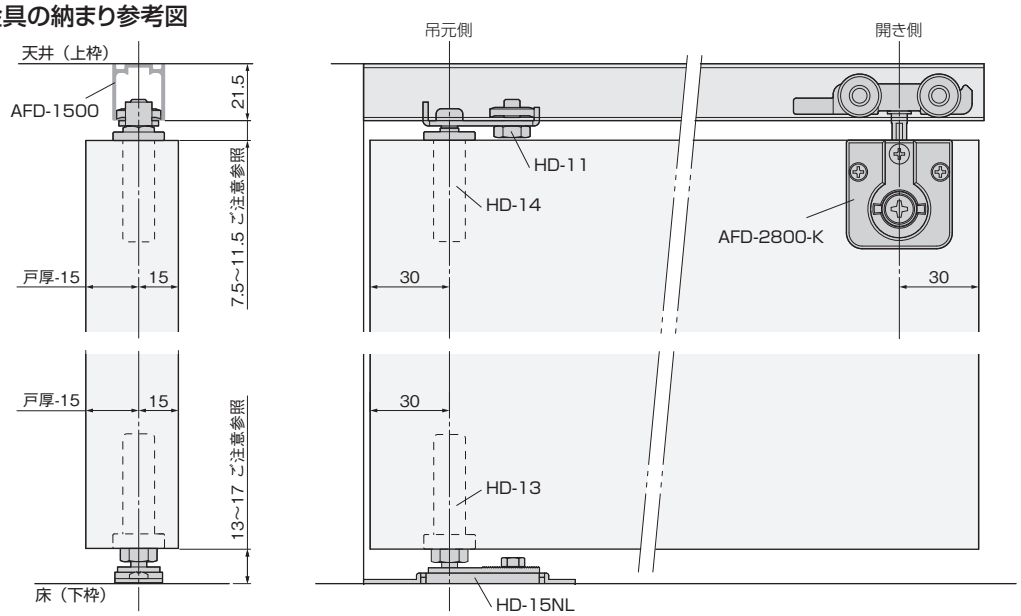
使用条件

◇折戸1組の総質量:AFD-2800-K 30kg以下／AFD-2800 20kg以下　◇戸の厚さ:29mm以上　◇折戸1組の戸幅:600～900mm
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。
折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。

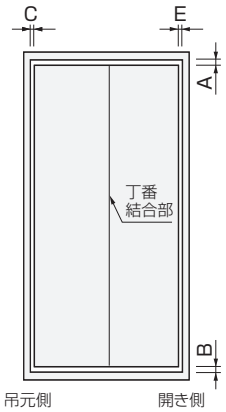
設計ガイド

■金具の納まり参考図



※下部ピボットにHD-16をご使用の場合は、817ページの下部ピボット部をご参照ください（対応戸厚は26mm以上になります）。

■戸と枠（またはレール）との必要すきま寸法



●上下のすきま

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=7.5～11.5
B=床と戸の間のすきま寸法=13～17

●左右のすきま（折戸1組の場合）

C+E
使用丁番：HD-35

戸厚/戸幅	300	350	400	450
26	4.9	4.5	4.2	3.9
30	6.9	6.4	6.0	5.7
33	8.7	8.1	7.7	7.4
35	10.0	9.4	9.0	8.7
40	13.6	13	12.5	12.1

C（吊元側すきま寸法）

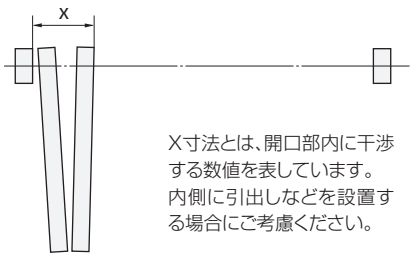
戸　厚	C
26	2.0
30	3.5
33	5.0
35	6.1
40	9.1

※上記の左右すきまは「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。
※丁番結合部のすきまは0mmの設定です。

ご注意

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法（=20.5mm）、あるいは最大値どうしを足した寸法（=28.5mm）に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法
（ただし、20.5mm<上下のすきま<28.5mm）
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設計しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■戸を開けた時のX寸法



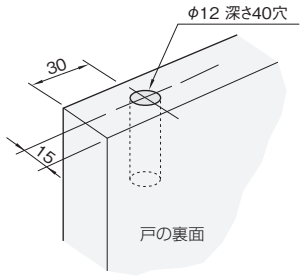
X=91mm+戸厚+吊元側すきま寸法

X寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合にご考慮ください。

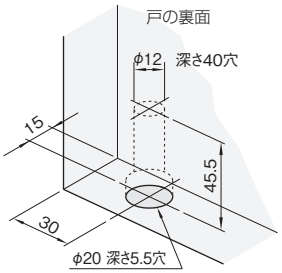
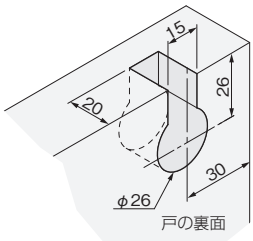
※上記計算式は「使用丁番HD-35」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

■戸の加工寸法参考図

上部ピボット（HD-14）の取付け



下部ピボット（HD-13）の取付け



上部吊り車（AFD-2800-K、AFD-2800）の取付け